

第3次まんなかビジョン 基本理念

まんなかで日本をリード

— 国際戦略の拠点となる中部 —

「第3次まんなかビジョン 基本理念」は、2045年リニア全線開通など、国内外の社会変化に的確に対応しつつ、2050年を見据えた中部の地域づくりのあり方や将来像などについてとりまとめたものです

我が国や中部を取り巻く時代の潮流と課題

- ▼ 急激な人口減少・少子化、高齢化
- ▼ グローバリゼーションの進展、国際観光交流の拡大
- ▼ 巨大災害の切迫、自然災害の頻発・激甚化、インフラの老朽化
- ▼ 食料・水・エネルギーの制約、地球環境問題、自然環境問題

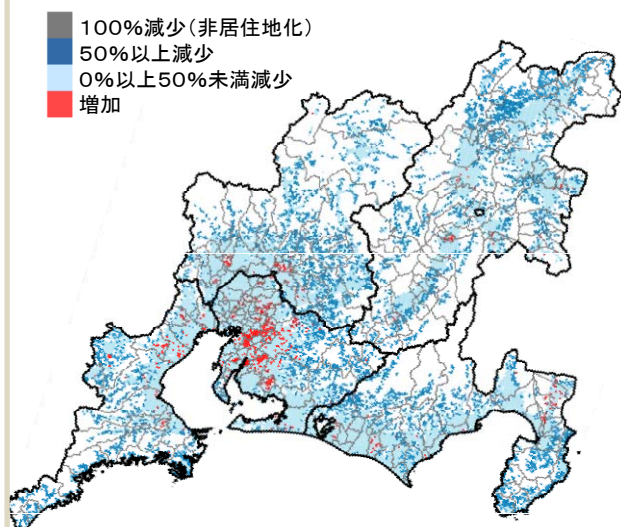
2050年人口推計9,700万人

- ・高齢化率は異次元の4割
- ・生産労働人口は4割減少
- ・中部の5割の地域で人口が半数以下に減少

南海トラフ巨大地震

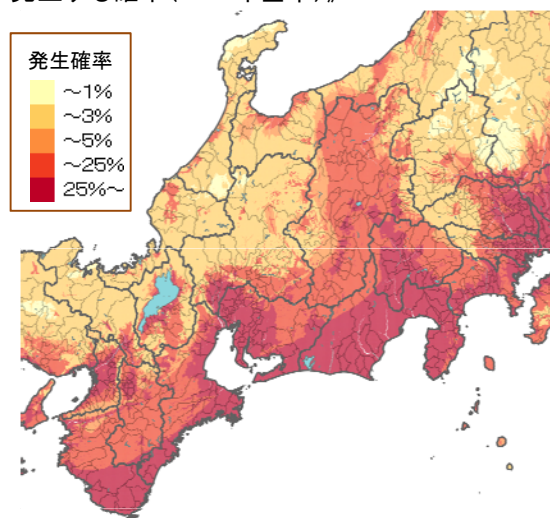
- ・30年以内の発生確率70%
- ・被害想定死者数は最大32万人
- ・被害想定額は最大220兆円

《2050年の総人口の増減状況(中部)》



出典:国土交通省「国土数値情報
将来推計人口メッシュ(国政局推計)」より作成

《今後30年間に震度6弱以上の地震が発生する確率(2013年基準)》

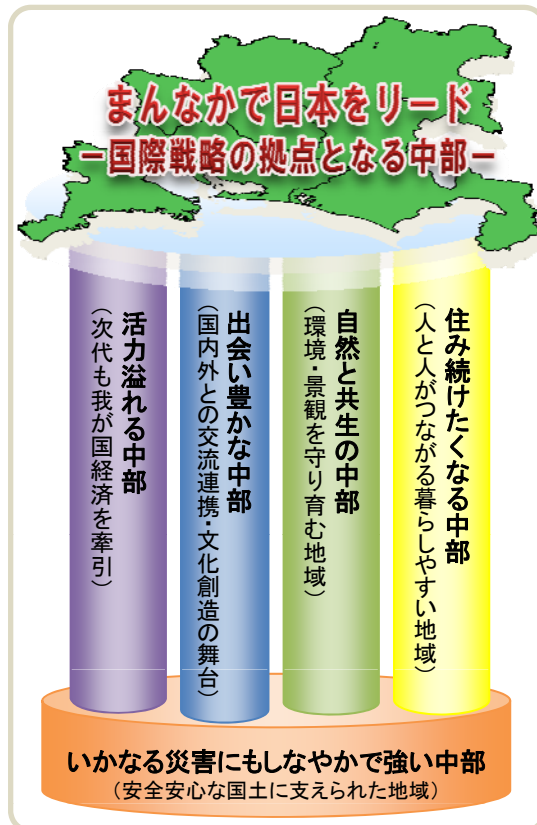


※2013年モデル1(従来モデル)、全ての地震、平均ケース
出典:独立行政法人防災科学技術研究所
「確率論的地震動予測地図データ(2013年)」

中部の将来像

■目指すべき地域づくりの方向

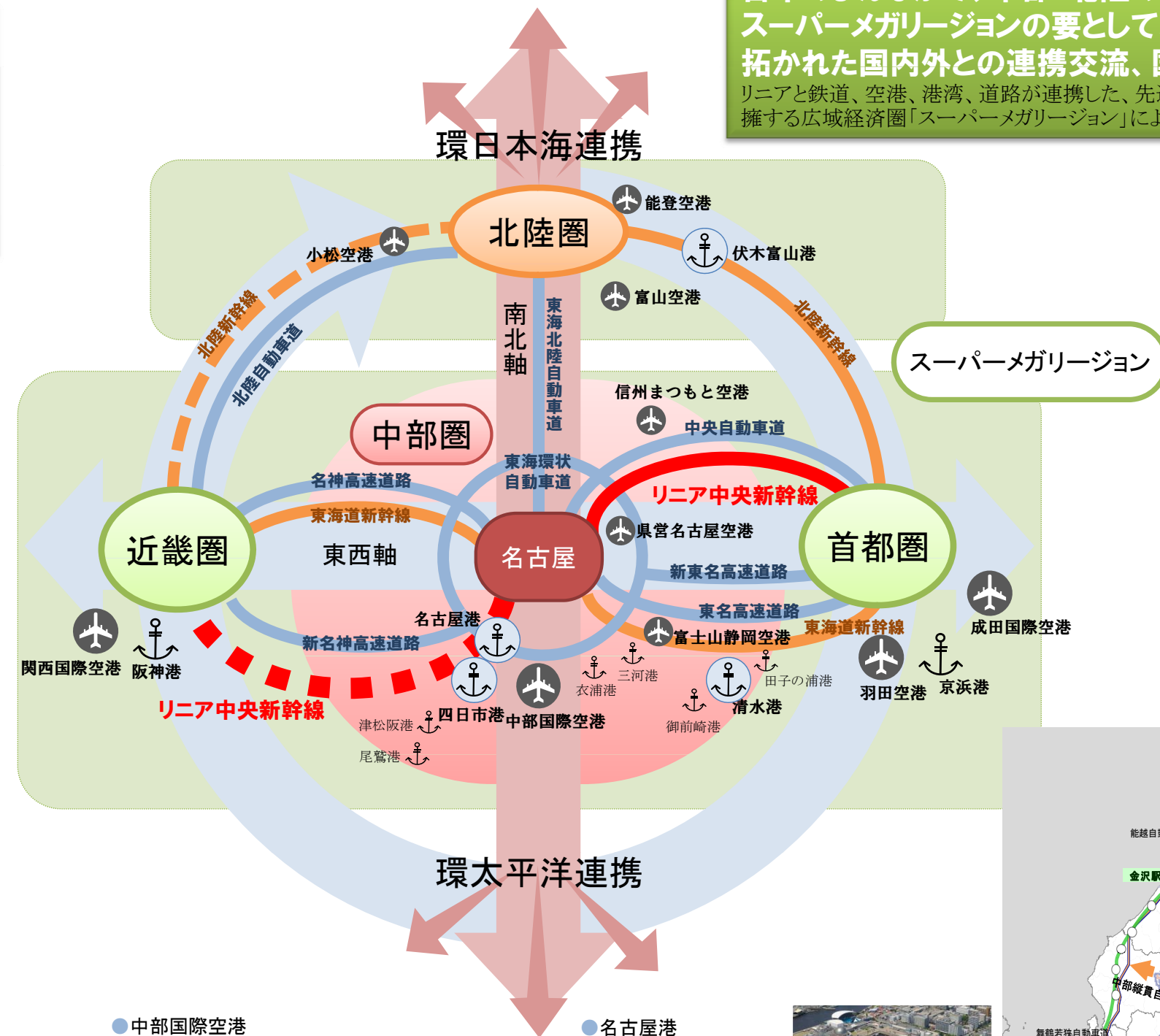
- 世界から信頼を得る安全安心
- 歴史・文化・産業を活かしたもののづくりを基軸に国際競争を先導
- 中部・北陸の2面活用、首都圏から逆流、賑わいと活力
- 環境負荷の軽減と回復、豊かな自然環境、美しい風土風景を守り育む中部
- 東京一極集中から脱却、地方への人口還流、地域や人のつながり、絆を活かす地域づくり



高速交通ネットワークが切り拓くこれからの中部

日本のまんなかで、中部・北陸の連結強化、2面活用したスーパーメガリージョンの要として、環太平洋、環日本海に拓かれた国内外との連携交流、国際戦略の拠点を形成

リニアと鉄道、空港、港湾、道路が連携した、先進的で世界最大の6,000万人を擁する広域経済圏「スーパーメガリージョン」により、中部圏の優位性が高まる



●リニア中央新幹線



© Central Japan Railway Company. All rights reserved.

●新東名高速道路

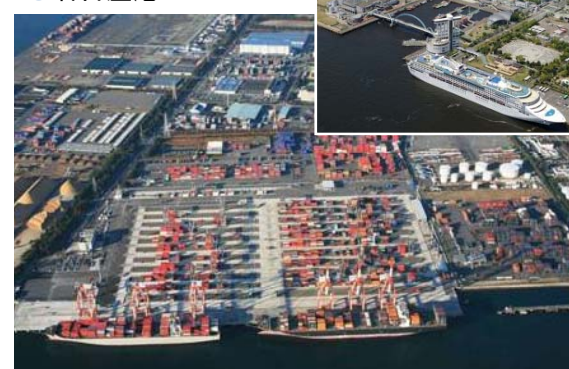


●中部国際空港

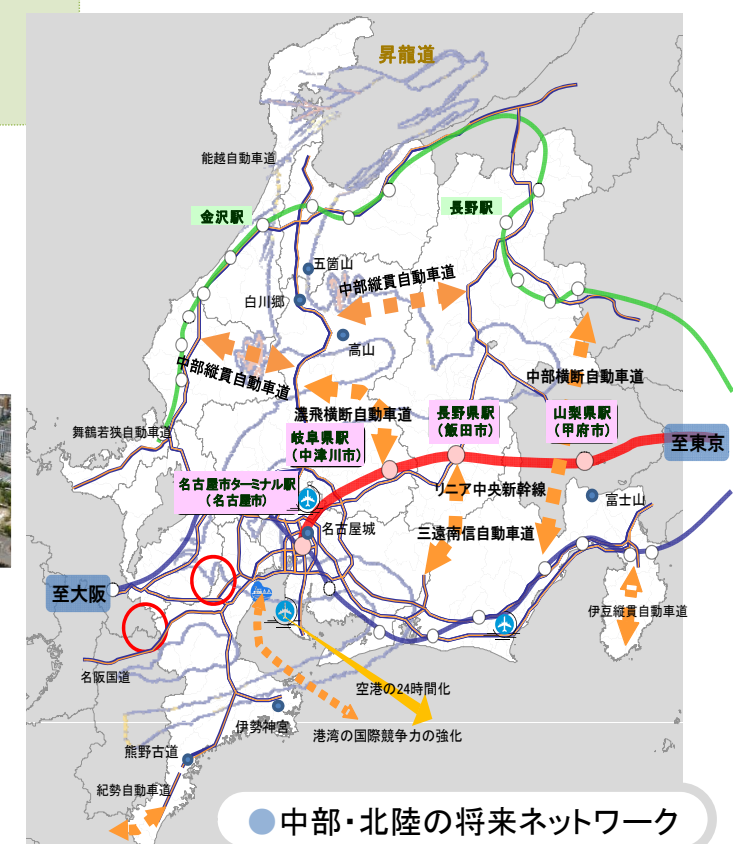


中部国際空港株式会社提供

●名古屋港



名古屋港管理組合提供



●中部・北陸の将来ネットワーク

中部の将来像を実現するための基本戦略

I. 南海トラフ巨大地震など大規模災害への備え、安全安心な地域づくり

■防災は中部の原点、災害には上限がないという東日本大震災の教訓

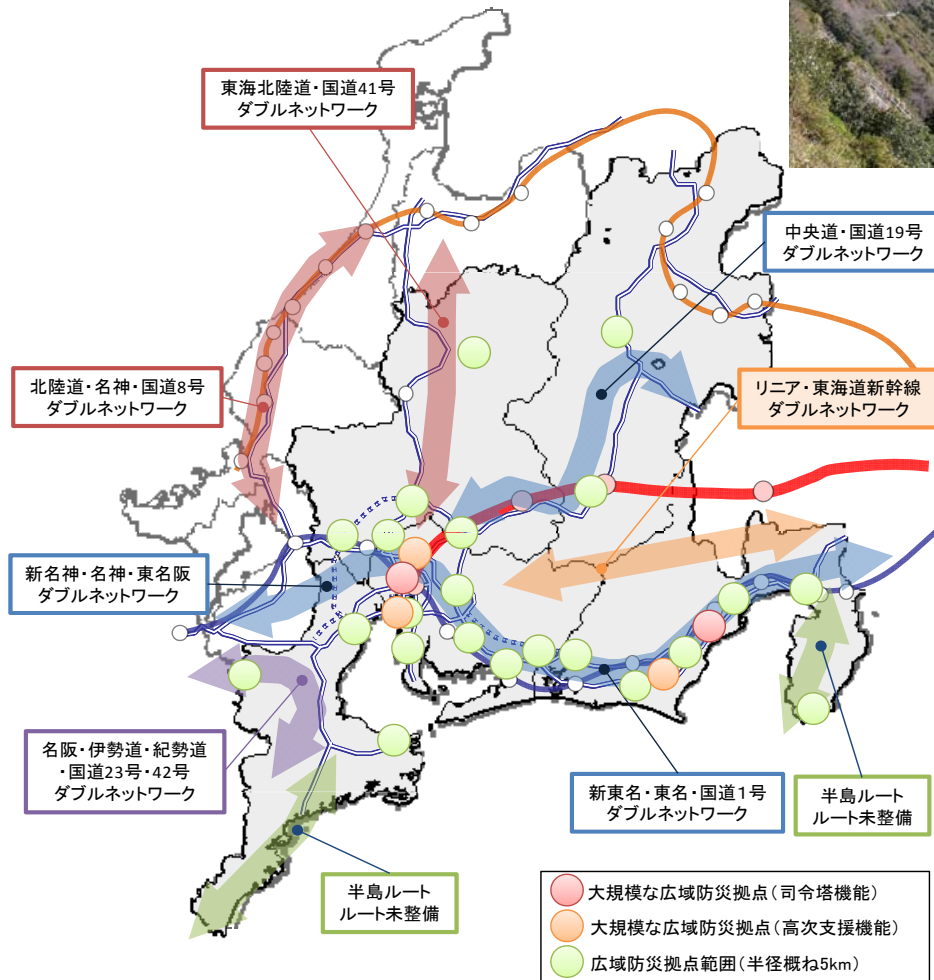
◇南海トラフ地震対策中部圏戦略会議における取組の加速・進化

◇社会経済活動を寸断させないダブルネットワーク化など代替補完機能の確保

●広域交通網のダブルネットワーク化

東西国土軸の代替補完機能を確保し、社会経済活動を寸断させることなく、早期の復旧・復興を図る環境を構築

日本の大動脈が集中（静岡県由比地区）

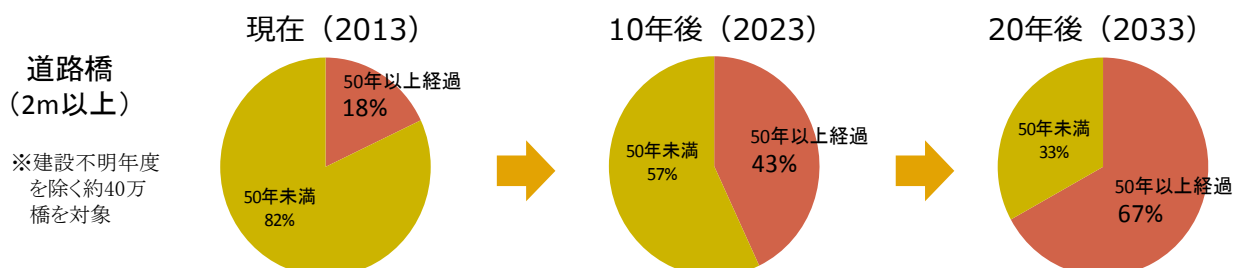


出典：中部地方整備局「中部地方幹線道路協議会 道路管理防災・震災対策検討分科会資料」をもとに作成

■老朽化するインフラの長寿命化への取組を促進、インフラを賢く使う

◇利用者ニーズに合わせ、インフラを最大限活用しつつ賢く使っていく

●インフラの高齢化割合が今後加速度的に増加



出典：国土交通省「社会資本整備審議会・交通政策審議会技術分科会技術部会社会資本メンテナンス戦略小委員会資料」をもとに作成

II. ものづくりを基軸とした「人」「価値」を育む地域づくり

■ものづくり産業で世界最先端地域を目指す

◇産業の高度化、厚みの拡充

◇ものづくり産業の国際競争力の強化

◇ものづくりを基軸とした人材の確保・育成、女性や高齢者の社会参画促進

■ICT・ロボット技術を積極的に活用した社会システムの構築

●中部におけるものづくり技術の変遷・発展

多様な技術を組み合わせて技術発展を遂げ付加価値を高めてきた中部。
今後も多様な分野への展開による産業構造の重層化を推進

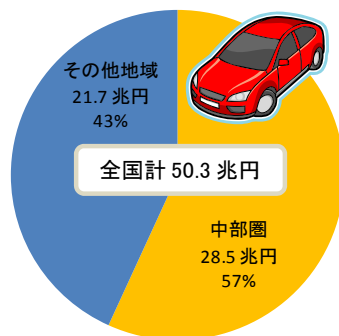


出典: 国土交通広域連携中部会議 フォローアップ会議「新まんなかビジョン(平成21年7月)」

●中部は我が国を牽引する産業が集積、重層化を推進

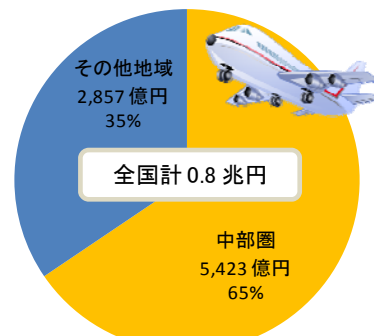
次世代自動車や国産旅客機(MRJ)、ロボット産業など多様な分野への展開、産業構造の重層化を進め、世界最先端地域としての発展を目指す

○自動車関連の製造品出荷額等シェア



(自動車製造業(二輪自動車を含む)、自動車車体・附属車製造業、自動車部分品・附属品製造業の合計のシェア)

○航空機部品の製造品出荷額等シェア



(その他の航空機部分品・補助装置製造業のシェア)

※岐阜県の自動車車体・附属車製造業は秘匿値のため中部圏に含めていない

※静岡県のその他の航空機部分品・補助装置製造業は秘匿値のため中部圏に含めていない

出典: 経済産業省「平成24年工業統計」

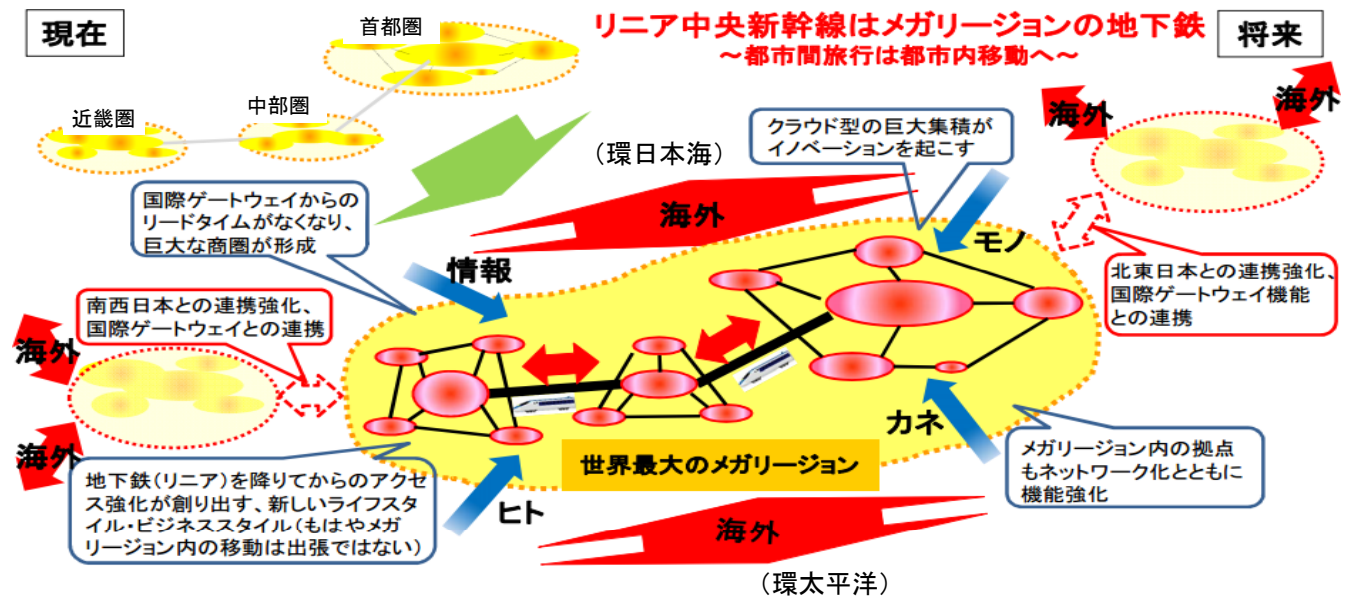
中部の将来像を実現するための基本戦略

Ⅲ. スーパーメガリージョンの要となる地域づくり

■中部から国土の新たな価値の創出

- ◇東京一極集中からの脱却や地方への人口環流、首都圏の機能再配置の受け皿となり、日本の中枢機能やバックアップ機能を担う地域づくり(国土の脆弱性の是正)
- ◇リニア・鉄道・空港・港湾・道路が連携する多モード型複合高速交通ネットワークの構築
- ◇中部のものづくり技術の中枢圏化、産学官連携による知の創発拠点をつなぐナレッジリンクの拠点形成

●リニア中央新幹線開業によるスーパーメガリージョンの形成



出典：国土交通省「国土のグランドデザイン2050」をもとに作成

■大交流時代における国内外の広域交流を深める観光交流圏の形成

■多様な面で発展ポテンシャルを世界に発信

■日本海との緊密な連携による、太平洋側と日本海側の一体性を実現する2面活用型の地域づくり

- ◇ゴールデンルートから昇龍道へ誘う、観光資源・拠点のネットワーク化、地域の魅力の磨き上げ

●昇龍道プロジェクト

アジアを中心とした大交流時代において、中部・北陸圏9県の産学官民が連携し、国際的な観光拠点として内外の観光客を積極的に呼び込み、交流人口の拡大を図る広域観光周遊のプロジェクトを一層推進



海外でのプロモーション
中部運輸局提供



Ⅳ. 産業と共存し特色ある自然環境・景観を備えた地域づくり

■ものづくり技術を応用した良質な環境・景観の形成
■快適で人と環境にやさしい社会の形成

■国土の健康を回復する循環型の社会の構築
■美しい風土・風景と良好な景観の創造

自然と調和した歴史文化を醸し出すダイナミックな風土・景観を再生、保全・活用し、市民との協働により、未来へ継承するための取組を進め、地域の魅力を高めていく

●良好な自然と街道、まちなみ、港など多様な歴史文化を醸し出す景観



丸山千枚田(熊野市)
(公社)三重県観光連盟提供



うだつの上がる町並み(美濃市)
美濃市提供



おはらい町(伊勢市)
(公社)三重県観光連盟提供



富士山と調和した清水港

●中部が有する豊富な自然景観



国営アルプスあづみの公園



三河湾国定公園



八ヶ岳中信高原国定公園



富士箱根伊豆国立公園



国営木曽三川公園



愛知高原国定公園



南アルプス国立公園



天竜奥三河国定公園



出典:国土交通広域連携中部会議 フォローアップ会議「新まんなかビジョン(平成21年7月)」をもとに作成

V. 濃密かつ重層的な対流で人が心豊かに生きる地域づくり

■中部の重層的な地域構造が対流を呼び起こす地域整備

◇中部の地域特性を最大限に活かした「コンパクト＋ネットワーク」の地域づくり

●コンパクト＋ネットワーク (イメージ)

中部の多極分散型地域構造を効果的に活用し、質の高いサービスの提供や人・モノ・情報の交流・出会いを活発化させ、新たな価値を創造



◇小さな拠点の形成

小学校や旧役場庁舎の周辺に日常生活を支える買い物、医療等の「機能」をコンパクトに集積
交通と情報通信によるネットワークで周辺を支える



圏域内都市間ネットワークの充実

広域連携ネットワーク

コンパクトシティの推進

地域の公共交通ネットワークの再構築

出典:国土交通省「国土のグランドデザイン2050」、「重点政策2014」をもとに作成

ものづくりを基軸に「人・モノ・情報」が 重層的に対流する魅力あふれる中部を創生 東京一極集中からの脱却や地方への人口環流を先導

▼中部の先進気鋭、ものづくりにいきづく歴史・文化・産業を活かす

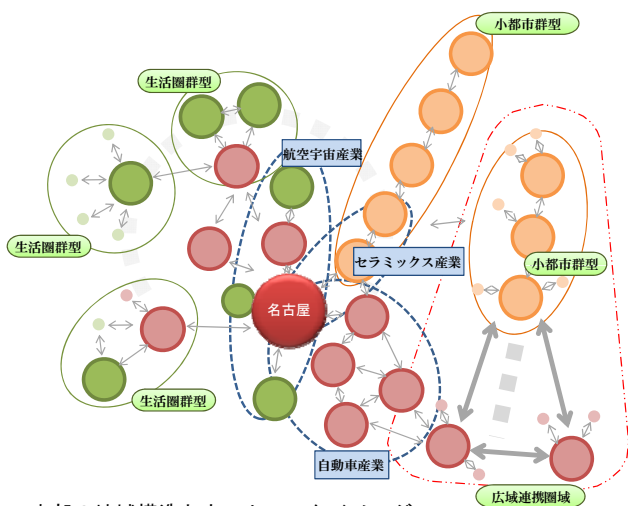
- 多様な技術を組み合わせて発展を遂げてきた中部のものづくり
- 次世代自動車や航空機産業など先進技術の集積を図り、新たな付加価値を高め、多様な分野への展開による産業構造の重層化を推進



国産旅客機(MRJ)
三菱航空機株式会社提供

▼中部の地域や人のつながり、絆の強さを活かす

- 生活や産業、観光面など多彩なつながりを有する中部の地域や「まち」、そこに住む人のつながりを活かした「コンパクト＋ネットワーク」整備
賑わいと活気を創出し、重層的な対流を促し地域の新たな価値を創造



中部の地域構造とネットワークイメージ

都市・地域のつながり:

- 製造業などに特化し自立した母都市
- 中心都市を核に周辺市町村がつながる生活圏群型
- 複数の小都市が都市機能を補完し合う小都市群型
- 各圏域のさらなる広域連携により形成される圏域
- 産業のつながり



高山の古いまちなみ、賑わい
高山市提供

人々の暮らしを下支え、世界から信頼を得る安全安心な国土づくり



日本の大動脈が集中
(静岡県由比地区)



東海豪雨水害(H12.9)

- 南海トラフ地震対策中部圏戦略会議における取組の加速・進化
- 東西国土軸のダブルネットワーク化など代替補完機能を確保し、社会経済活動を寸断させない環境を構築
- 老朽化するインフラの長寿命化への取組、インフラを賢く使っていく

本紙は、まんなか懇談会提言の「第3次まんなかビジョン 基本理念」をもとに作成(要約)したものです

発行：国土交通省 中部地方整備局 企画部 〒460-8514 愛知県名古屋市中区三の丸2-5-1 名古屋合同庁舎第2号館
TEL:052-953-8127 FAX:052-953-8294 ウェブサイト(まんなかビジョン): <http://www.cbr.mlit.go.jp/mannaka/>
2014年11月